



【発行】

- ◆デイサービスセンター共生の星
- ◆共生の星・統合デイサービス
- ◆共生の星ヘルパーステーション
- ◆なすなケアアラシセンター
- ◆共生の家
- ◆グループホーム共生の里

高槻市西町8番7号
TEL.072-695-2914

2019年
11
月号

閉じ込めろと言うのか

JR東海の線路内に91歳の認知症の男性が入って電車にはねられ死亡する事故があった。誰しもが痛ましい事故と考えることでも、JR東海は違った。人身事故によって列車に遅れが生じ、損害が発生したから弁償しろと遺族を法廷に引っ張り出したのだ。裁判官も、しっかり見守らなかった（閉じ込めなかった）介護者が悪いと、認知症の遺族に720万円の賠償を命じた。



＜楽しいミニ歓迎会＞

認知のある人が介護者の目をくぐって一人で外出することはよくあることだ。だから介護者は必死で探索する。他人に迷惑をかけていないか、交通事故にあったのではないか、家がわからなく行き倒れているのではないかなど、心配の種はどんどん膨らんでいく。

でも、見つかるかとホッとほしても、閉じ込めようとはしない。それは、認知があっても人間らしく生きることを願い、それを社会で支えて行くことの大切さを知っているからだ。認知のある人は「閉じ込めろ」と言わんばかりの判決は、権力と大企業が認知症介護に挑戦状を突きつけた格好だ。



デイサービスセンター 共生の里

ミニ運動会

秋のミニ運動会を開催しました。風船送りでは、みなさん隣のチームに負けないように素早く風船を次の方に送っていました。続いて菓子食い競争、これには職員も参加し、大口を開けてお菓子をくわえようとする顔を見て、利用者さんから大きな笑い声が挙がっていました。この日は、よく体を動かし、よく笑いました。笑うって、いいですね。



共生の里・成合デイサービス

おおきな芋が穫れました!!

デイの菜園でさつまいもを収穫しました。芋ほりの話をすると、いつもはソファでうとうとしているKさんがすっと立ち上がって、自発的に玄関に向かって行きました。今年の芋はとても大きくて、掘るのにも力が要りましたが、一番の功労者は最年長のTさんでした。いも掘りは楽しく、そして、掘った芋を食べたら美味しかった!!



グループホーム 共生の里

おいしいパン

ミニ運動会をしました。楽器を持って、皆で歌って元気がでたところでスタートします。「一番にする!」と手を上げてハッスルする人や、パン食い競争ではパンを取ると美味しいとすぐ食べてしまう人がいました。運動中は、なにかとお腹がすく?のかもしれませんが。

玉入れや輪投げも普段のレクでお馴染みですが、運動会では目の色?が違っていました。



なずなケアプランセンター



Yさんは、3週間入院して寝たきり状態になった。家ではお風呂に入れないので、週1回デイサービスで入浴している。それ以外の排泄介助や食事介助、着脱介助等の介護は、すべて奥さんがする。最近ではベッドに座って足の運動を始めた。奥さんの介護が功を奏している。ベッドで端座位が取れるまで回復したのだから、次の目標はポータブルトイレで排泄することだ。その次はベッドから離れて食事を摂ること。せめて入院前の状態に戻って欲しいという奥さんの懸命な願を、ケアプランを通して実現したい。

共生の里ヘルパーステーション



Aさんは移動支援を利用して買い物に出掛けます。担当が私に交代した時のことを話してくれました。「直ぐには打ち解けられへんかった」「挨拶されても知らん振りしたこともあったやろ」「ヘルパーがどんな性格か？いい人か否か」を観察していたそうです。

確かに、あまり会話も続かず私も手探りでした。打ち解けるため、Aさんの普段の様子を聞いたり、関わり方を工夫したりして、こちらから「観察」しました。半年ぐらいかかったけれども、今は「ずつと頼むよ、買い物楽しいわ」と言ってくれています。

寄稿

高齢者住宅 共生の家



ラジオ体操

デイサービスを利用しない日は座ったままいることが多いので、どうしても運動量が落ちてしまいます。そこで、今話題になっているラジオ体操を取り入れました。椅子に座ったままでも体操が出来るように工夫されています。大きく息を吸って、ゆっくり吐いて、身体を伸ばしたり、そらせたり身体に無理のないように続けていくつもりです。





かいご げんば 介護の現場から



介護の世界に入ったのは介護の専門学校に進んだことからです。私の祖父は銀行員、父は消防士という固い仕事についていました。だからか、祖母は介護を「他人の下の世話をする仕事」と蔑んでいました。そんな祖母が、2年ほどすると介護が必要な状態になり、私が介護をすることになりました。最初は「男の子がすることじゃない」と強く拒んで介護を受け入れてくれませんでした。最後は「（介護をしてくれて）ありがとう」と言ってくれました。また、父も介護に無理解な祖母に対して「消防も血まみれの人を助ける、介護も苦しんでいる人を助ける」と言って、私を支えてくれました。父は我慢強い人だったようで、肝臓にがんが見つかった時は手遅れの状態でした。一時的に「肝性脳症」で見当識障害を起こし、その時は家族すら忘れてしまいました。私は、そんな父も介護しました。医師から余命3カ月と言われたけれども、1年ほど生きながらえたことは、家族の介護の賜物と思っています。

こうして私は、祖母と父の介護を通して、介護の仕事に対する自信をつけてもらったような気がします。今は、グループホームで働いていますが、自分の家族を「入居させたいくなる」グループホーム作りを目指して日夜励んでいます。（竹林雅之：介護福祉士）

1月のスケジュール

3日	喫茶外出 (GH)
5日	カラオケ (西町デイ)
6日	避難訓練 (西町デイ)
7日	誕生日会 (GH)
8日	ギター演奏 (GH)
9日	おやつバイキング (西町デイ)
13日	地域交流友遊サロン (GH)
14日	誕生日会 (西町デイ)
	紅葉狩り (GH)
中旬	紅葉狩り (成合デイ)
18日	おやつ作り (西町デイ)
19日	避難訓練 (成合デイ)
20日	お楽しみ会 (西町デイ)
21日	外出ドライブ (GH)
22日	誕生日会 (成合デイ)
25日	ギター演奏 (GH)
27日	変わり風呂の日 (GH)
28日	買い物 (GH)
29日	共生の家会議
	ハイキング (GH)
毎週月曜日	ヘルパー会議
第3週火曜日	ヘルパー研修会